期待 評価

起業創業等支援事業費
町なかのにぎわいの創出を

事業費 516万8000円

Q この事業の目的は。

A 町内における商業の活性化を図り、町内のにぎわいを創出することが主な目的です。町内事業者の販路拡大、新規店舗の増加、空き店舗の解消、地元高校生の起業意識向上など、多角的な視点で事業を進めました。

Q 各取組の成果は。

A 令和7年度については、前年度から継続して実施している「小川高校起業体験プログラム」と「空き店舗利活用事業」に加えて「街中周遊デジタルスタンプラリー」と「道の駅出店支援補助金」を実施しました。

これら4つの事業は、道の駅リニューアルに合わせ、県の補助金（ふるさと創造資金）を活用して実施しています。この取組を通じて、若者の起業に対する意識の醸成、空き店舗の利活用、町内事業者の販路拡大、町外からの誘客など、地域経済の活性化につながる一定の成果が得られたものと考えています。



町なかへの周遊に一定の効果!?

評価

おがわ野菜のプロモーション
おがわンブランドのPR活動は

委託料 50万円

Q 事業の実績は。

A おがわンブランドのPR活動として、マルシエやフェス等への出店や、PR誌「オガワンプレス」を作成しました。

令和7年4月19日、川越オーガニックマルシエに出店し、おがわンブランドのPR活動を行いました。令和7年9月6日には「おがわんプロジェクト隣人祭り」を開催し、プロジェクトに関わる農家・飲食店・町民が一同に集い、事業の理解と広がりに一定の成果を上げました。また、オガワンプレス（VOL・10）を制作し、PR活動を行いました。

Q 令和8年度「おがわん10周年記念プロモーション」への関連は。

A おがわンプロジェクト開始から10周年を迎えるに当たり、埼玉県のふるさと創造資金を活用し、これまでの活動に加え、農業体験ツアー等にも取り組む予定です。



小川町産野菜を食卓に！ 川越オーガニックマルシエでPR

評価

第4次「生涯学習推進計画」
学び続けるための仕組みづくりは

委託料 191万2000円

Q 計画のポイントは。

A 作成の過程で実施した町民や団体アンケートを分析し、4つの取組を設定しました。

①学びにつながるきっかけづくり
②多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実
③学びを活かせる仕組みづくり
④学びを豊かにする環境づくり

です。教育行政重点施策の各施策項目と関連づけることで、一体化した展開に努めます。

Q 計画の進捗はどのように評価するのか。

A 総合振興計画に位置づけられた指標に加えて「定量目標」を設定し、毎年点検していきます。具体的には、令和12年度を達成年度として、電子図書館の登録者数100人、和紙マラソンエントリー者数3000人などを目指します。



目指せ！ エントリー3000人。起伏に富んだ冬の小川路

期待

移住サポートセンター
ニーズにあった物件の確保を

事業費 552万1000円

Q 移住の実績は。

A 令和5年度31組58人、6年度41組76人、7年度35組65人です。

Q 事業の課題は。

A 事業を展開していく中で課題の一つが、移住希望者のニーズにあった物件の確保です。町内不動産業者などが扱っている物件や町内に空き家等を所有している方からの情報を基に、物件の情報収集をしています。令和8年度は、各行政区にアンケートを実施し、空き家の状況について把握を行っています。

Q 新たな手立ては。

A 先輩移住者との交流や、移住者同士の交流会を実施するなどサポートを行います。


移住者同士の交流。活発な情報交換で小川町への理解が深まりました

小川町議会だよりは 写真にコダワル！ 写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション（写真説明）も工夫します。

次ページは「条例制定の質疑」ほか